

造園史特論 (2単位)

担当者氏名 鈴木 誠

◆学習・教育目標 (到達目標を記載)

造園の歴史を学び、造園史から学ぶ方法の修得を目指す。日本における各種造園様式の誕生と変遷を前半で、後半では西洋造園史の要諦と近代現代造園学、並びに造園家のルーツに焦点をあて、その発祥前後の時代状況と造園との関係や、その後の造園の展開を時系列的・意味論的に考察し、その正しい理解を目的とする。造園史に学ぶことは、現代造園 (Modern Landscape Architecture) と現今の時代状況を深く洞察する眼を養い、将来を展望する糧である。あわせて近年話題の造園史トピックや造園史研究の課題と方法についての理解も深める。

◆取り扱う領域 (キーワードで記載)

造園史	庭園史	庭園	公園
造園学	造園家	日本庭園	西洋庭園

◆授業の進行等について

	テーマ	内容	準備学習(予習復習)等の内容と分量
1	ガイダンス	造園史特論の視座、講義の進め方	
2	造園史：西欧と日本	日本の造園の特質	本授業のねらいは、造園史を学ぶことではなく、造園史から学ぶ方法・手法を修得することである。造園の歴史に刻まれた「Who(誰が)」「What(何を)」「Why(なぜ)」といった事柄を、講義やテキスト、各種情報から大学院生自らが発見・理解出来るようになることを重要視する。したがって、常に自らの考え方(造園観)を整理して発表できるようにすることが大切であり、事前配布物または紹介文献の熟読と自身による読解が重要。なお、最後の3回をトピックスとして最新の話提供を予定している。
3	造園史の読み方・日本1	奈良・平安時代の庭園	
4	造園史の読み方・日本2	鎌倉・室町・安土桃山時代の庭園	
5	造園史の読み方・日本3	近世／江戸時代の庭園	
6	造園史の読み方・日本4	事例研究：江戸の名園	
7	造園史の読み方・日本5	近代の庭園(明治～昭和時代前期)	
8	造園史の読み方・日本6	現代の庭園(昭和時代後期・平成時代)	
9	近代造園の発祥・日本	公園の誕生と近代造園の発祥	
10	近代の庭園と造園	明治期～昭和戦前期	
11	近代造園の展開	1920-30年代の造園界をめぐって	
12	日本庭園の20世紀	世界的視野でみた日本庭園の20世紀	
13	造園史トピックス 1	近年話題の造園史上のトピックス	
14	造園史トピックス 2	近年話題の造園史上のトピックス	
15	造園史トピックス 3	近年話題の造園史上のトピックス	

◆教科書及び資料 (授業前に読んでおくべき本・資料)

近代造園学 80年のあゆみ／東京農大造園科学科編／東京農大出版会 (2006) ほか授業にて紹介

◆授業をより良く理解するために便利な参考書・資料等

日本の庭園／進士五十八／中央公論新社 (2005)、日本の庭・世界の庭／鈴木誠／農文協 (2005) ほか

◆評価の方法 (レポート・小テスト・試験・課題等のウェイト) 授業中の質疑など (小テスト) 60% ●レポート課題 40%

◆オフィスアワー 授業終了時に相談することを基本とする。または造園科学科の担当科目を参照のこと。

◆その他受講上の注意事項

- ・授業内容はシラバスのとおりだが、13～15回のトピックスは途中開講する場合もある。また、特別講師や現地授業などの関係により進行順序を変更する場合がある。これらの予定はガイダンス時にアナウンスする。